

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤推進研究事業）社会的責任に応える医療の基盤となる診療ガイドラインの課題と可能性の研究

令和元年度 分担研究報告

臨床医学系学会における診療ガイドライン作成の課題と可能性
－診療ガイドライン作成現場における課題：各領域の作成委員会参加を通して－
(第3報)

分担研究者 吉田雅博 国際医療福祉大学医学部消化器外科学教室 教授
日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部 客員研究主幹

【研究要旨】

【背景】日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部 Minds (Medical information network distribution service)ガイドラインセンターは、2011年から網羅的検索、系統的評価による選定に基づいた診療ガイドラインデータベースの構築を開始し、一般国民に診療ガイドラインを普及し、活用を促進するための活動を行っている。Minds では、「ガイドライン作成マニュアル」や「ガイドライン作成の手引き」を出版し、作成のための資料を提供しているが、具体的な作成は専門系学会に委ねられており、作成方法論の普及と具体的な作成支援は、十分とは言えない。

【目的】Minds では、2011年から、診療ガイドラインの普及にあわせて、診療ガイドラインの作成支援を拡充させてきた。本報告は、ガイドライン作成委員会の現場のニーズや課題についての実態に関して、2018年4月～2019年3月に、直接ガイドライン作成委員会に参加し、ガイドライン作成委員会の作成現場における傾向と課題を抽出することを目的としている。

【方法】

- (1) 診療ガイドライン作成委員会に直接参加する（現在の所、依頼ベース）
- (2) ガイドライン作成支援の内容を集計、解析する
- (3) 2017年度、2018年度、2019年度の経年変化を解析する

【結果】

- (1) 作成支援 28 ガイドライン委員会に延べ 58 回参加
統括委員会関係 8 学会等に延べ 9 回参加
- (2) ガイドライン作成支援の内容

スコープ（重要臨床課題、CQ）	10（17.2%）
システマティックレビュー	12（20.7%）
推奨作成	12（20.7%）
普及のための工夫	9（15.5%）
総論（全体の説明）	15（25.8%）

【考察】

(1) 作成支援依頼として、総論、システマティックレビュー、推奨作成の順に多く、67%を占めた。

(2) 一方、普及のための工夫に関する支援依頼は、2019年度は 15.5%にとどまったが、2018年 14.6%、2017年度の 7.3%に比し増加傾向であった。

現時点でも、ガイドライン作成・普及・活用・評価というガイドライン作成改訂の流れの中で、実務作業の支援依頼が多いが、普及活用のための依頼も増加傾向にある。

【結論】

質の高い診療ガイドライン作成に向けた支援は言うまでもないが、普及に向けた取り組みを行なう必要が再認識された。

背景

日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部 Minds (Medical information network distribution service)ガイドラインセンターは、2011 年から網羅的検索、系統的評価による選定に基づいた診療ガイドラインデータベースの構築を開始し、一般国民に診療ガイドラインを普及し、活用を促進するための活動を行っている。Minds では、「ガイドライン作成マニュアル」や「ガイドライン作成の手引き」を出版し、作成のための資料を提供しているが、作成は専門系学会に委ねられており、作成方法論の普及と具体的な作成支援は、十分とは言えない。

A. 研究目的

Minds では、2011 年から、診療ガイドラインの普及にあわせて、診療ガイドラインの作成支援を拡充させてきた。本報告は、ガイドライン作成委員会の現場のニーズや課題についての実態に関して、2018 年 4 月～2019 年 3 月に、直接ガイドライン作成委員会に参加し、ガイドライン作成委員会の作成現場における傾向と課題を抽出することを目的としている。

B. 方法

- (1) 診療ガイドライン作成委員会に直接参加する（現在の所、依頼ベース）
- (2) ガイドライン作成支援の内容を集計、解析する

C. 結果（表 1）

(1) 作成支援として 28 ガイドライン委員会に延べ 58 回参加（表 1）、統括委員会関係に対し 8 学会等に延べ 9 回参加した（表 2）。

(2) ガイドライン作成支援の内容

スコープ（重要臨床課題、CQ）	10 (17.2%)
システムティックレビュー	12 (20.7%)
推奨作成	12 (20.7%)
普及のための工夫	9 (15.5%)
総論（全体の説明）	15 (25.8%)

D. 考察

(1) 作成支援依頼として、総論、システムティックレビュー、推奨作成の順に多く、67%を占めた。

(2) 一方、普及のための工夫に関する支援依頼は、2019 年度は 15.5%にとどまったが、2018 年 14.6%、2017 年度の 7.3%に比し

増加傾向であった（表 3）。

現時点でも、ガイドライン作成・普及・活用・評価というガイドライン作成改訂の流れの中で、実務作業の支援依頼が多い傾向はある。

その一方で、世界的にも活用促進に対する注目が集まる中で、日本においてもガイドラインの普及活用に対する意識が高まり、そのための支援依頼も確実に増加傾向にある。

より臨床で役に立つガイドライン作成のためには、ガイドライン出版とそれに引き続く、普及・活用・評価についても、今後も十分な情報提供と支援が必要である。

E. 結論

質の高い診療ガイドライン作成に向けた支援を行う事は言うまでもないが、普及に向けた取り組みも同時に啓発する必要が再認識された。

F. 参考文献

1. 福井次矢、山口直人編. 診療ガイドライン作成の手引き 2014. 医学書院、東京

G. 健康危険情報

該当なし

H. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Noriko Sasaki, Naohito Yamaguchi, Akiko Okumura, Masahiro Yoshida, Hiroyuki Sugawara, Yuichi Imanaka

Does hospital information technology infrastructure promote the implementation of clinical practice guidelines? A multicentre observational study of Japanese hospitals
BMJ Open 1-9 2019

- 2) Yojiro Hashiguchi, Kei Muro, Yutaka Saito, Yoshinori Ito, Yoichi Ajioka, Tetsuya Hamaguchi, Kiyoshi Hasegawa, Kinichi Hotta, Hideyuki Ishida, Megumi Ishiguro, Soichiro Ishihara, Yukihide Kanemitsu, Yusuke Kinugasa, Keiko Murofushi, Takako Eguchi Nakajima, Shiro Oka, Toshiaki Tanaka, Hiroya Taniguchi, Akihito Tsuji, Keisuke Uehara, Hideki Ueno, Takeharu Yamanaka, Kentaro Yamazaki, Masahiro Yoshida, Takayuki

Yoshino ・ Michio Itabashi ・ Kentaro Sakamaki ・ Keiji Sano ・ Yasuhiro Shimada ・ Shinji Tanaka ・ Hiroyuki Uetake ・ Shigeki Yamaguchi ・ Naohiko Yamaguchi ・ Hirotohi Kobayashi ・ Keiji Matsuda ・ Kenjiro Kotake ・ Kenichi Sugihara

Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum (JSCCR) guidelines 2019 for the treatment of colorectal cancer

International Journal of Clinical Oncology 1-42 2019

3) Terumi Kamisawa, Takahiro Nakazawa, Susumu Tazuma, Yoh Zen, Atsushi Tanaka, Hirotak Ohara, Takashi Muraki, Kazuo Inui, Dai Inoue, Takayoshi Nishino, Itaru Naitoh, Takao Itoi, Kenji Notohara, Atsushi Kanno, Kensuke Kubota,

Kenji Hirano, Hiroyuki Isayama, Kyoko Shimizu, Toshio Tsuyuguchi, Tooru

Shimosegawa, Shigeyuki Kawa, Tsutomu Chiba, Kazuichi Okazaki, Hajime Takikawa, Wataru Kimura, Michiaki Unno, Masahiro Yoshida
Clinical practice guidelines for IgG4 - related sclerosing cholangitis

Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences 26 9-42 2019

4) 診療ガイドラインの作成方法と活用方法はじめに一公平で偏りない作成方法と患者のための活用に向けて 吉田雅博 医学の歩み 271 288-290 2019

5) IgG4 関連硬化胆管炎の診療ガイドラインと残された問題点 吉田雅博・高田忠敬 胆と膵 40 671-674 2019

I. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得 該当なし
2. 実用新案登録 該当なし
3. その他 該当なし

表1-1 診療ガイドライン作成参加年間テーブル (作成支援)												
	2019年3月	2019年4月	2019年5月	2019年6月	2019年7月	2019年8月	2019年9月	2019年10月	2019年11月	2019年12月	2020年1月	2020年2月
1 食道癌診療ガイドライン				7日 1 第5版CO作成に向けたスケジュールの確認 2 ホグループごとの議案研究の提案 3 システムマッピングレビューの進捗については学委員から公募することとした 4 食道ガイドライン委員会は2019年10月24日～25日日本癌治療学会(福岡)にて開催することとした。	18日 ガイドライン検討委員会				20日 レビュー対象に議議 22日 検討委員会			
2 食道癌ESD/EMRガイドライン						29日 SRについて						
3 外反母趾診療ガイドライン			11日 CO委員会		20日 各COで採用するアクトカムの決定	27日 SR不明点等の質疑応答					4日 策定委員会	
4 経性骨髄性腫瘍診療ガイドライン	9日 策定委員会		25日 第5回策定委員会			10日 COの推奨決定		12日 策定委員会		14日 COの推奨決定		11日 CO決定及びBO修正確認
5 転移性肝臓癌診療ガイドライン	8日-25日 作業シートの確認や作成時の疑問点など	1日 作成委員会	13日 作成委員会	14日 中間報告			2日 作成委員会	16日 作成委員会委員長副委員長会議				
6 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術のガイドライン					9日 シンポジウム演者							
7 原部腎臓管状等症診療ガイドライン			10日 CO改訂作業の概要について講演								11日 BSR講義	
8 経腸経腸ヘルニア診療ガイドライン					9日 管内の文書群集、エビデンス抽出評価について講演		28日 BO本文確認・SR不備点質疑応答		21日 CO推奨決定			
9 睡眠時無呼吸症候群の診療ガイドライン	21日											
10 腰痛診療ガイドライン						14日 シンポジウム発表						
11 内視鏡外科ガイドライン			31日 委員会									
12 消化器病学会ガイドライン						28日 打ち合わせ						
13 乳癌診療ガイドライン			17日 委員会		12日 診療ガイドラインの作成と臨床活用演者						25日 委員会	
14 痔瘻診療ガイドライン			11日 改訂委員会会議		13日 講演・改訂委員会							
15 上腕骨外側上顆炎診療ガイドライン	8日 策定委員会		10日 SR委員会									
16 軟部腫瘍診療ガイドライン											18日 コメント対応検討	
17 変形性関節症診療ガイドライン	29日 策定委員会		12日 第2回策定委員会			30日 第3回委員会 CO設定シートの定直し結果報告				28日 策定委員会 文献収集結果確認・文献評価方法確認		
18 小児消化器感染症診療ガイドライン	21日 委員会											
19 GIST診療ガイドライン				18日 改訂WG講演 シフトレビューの手法について								
20 腸回転異常症診療ガイドライン								18日 WG会議 SR講義				
21 悪性骨腫瘍ガイドライン							28日 第1回策定委員会				21日 第2回策定委員会	14日 CO推奨決定
22 後腹膜肉腫ガイドライン								23日 第2回作成委員会				7日 SRセミナー
23 射影薬適正使用ガイドライン								24日 第1回改訂WG 講演				
24 大腿骨頭転子部骨折ガイドライン								19日 講演			25日 CO推奨決定	
25 生体肝移植ドナーガイドライン								22日 講演				
26 骨転移診療ガイドライン									22日 改訂版作成WG			
27 母体後妊婦・出産ガイドライン											29日 第1回策定委員会	
28 Oncocardiologyガイドランス											24日 MinCo説明会	
	4	3	9	3	6	4	4	6	3	4	8	3
	総論	CO	SR	推奨	活用							

表1-2 診療ガイドライン作成参加年間テーブル(学会統括委員会等)												
	2019年3月	2019年4月	2019年5月	2019年6月	2019年7月	2019年8月	2019年9月	2019年10月	2019年11月	2019年12月	2020年1月	2020年2月
1 歯科診療ガイドライン	6日 ライブラリー協議会 1) 申請ガイドラインの審査 2) 診療ガイドライン作成にかかわる対応について 3) 次年度の企画について 4) 診療ガイドライン作成協議会 5) 診療ガイドライン作成者 6) 発表交換会 7) 次期委員会への申し送り事項 8) その他											
2 日整学会ガイドライン委員会	8日											
3 日本小児外科学会ガイドライン委員会			23日 委員会にて講演									
4 産科救急ガイドライン委員会	7日 財務委員会											
5 在宅救急医学会						7日講演						
6 乳癌学会ガイドライン統括委員会					10日 統括委員会							
7 がん診療ガイドライン								26日作成・改訂委員会				
8 TIG-JPN統括委員会					18日	23日TIG普及推進打ち合わせ		3日-4日(国際会議)				
	3		1		2	1		2				